

一般社団法人全国専門学校情報教育協会(研修委員会)
平成30年度 研修ニーズアンケート
教員・職員

●調査時期
平成30年3月16日～平成30年4月23日

●発送数 75 件(校)

●回答数 29 件

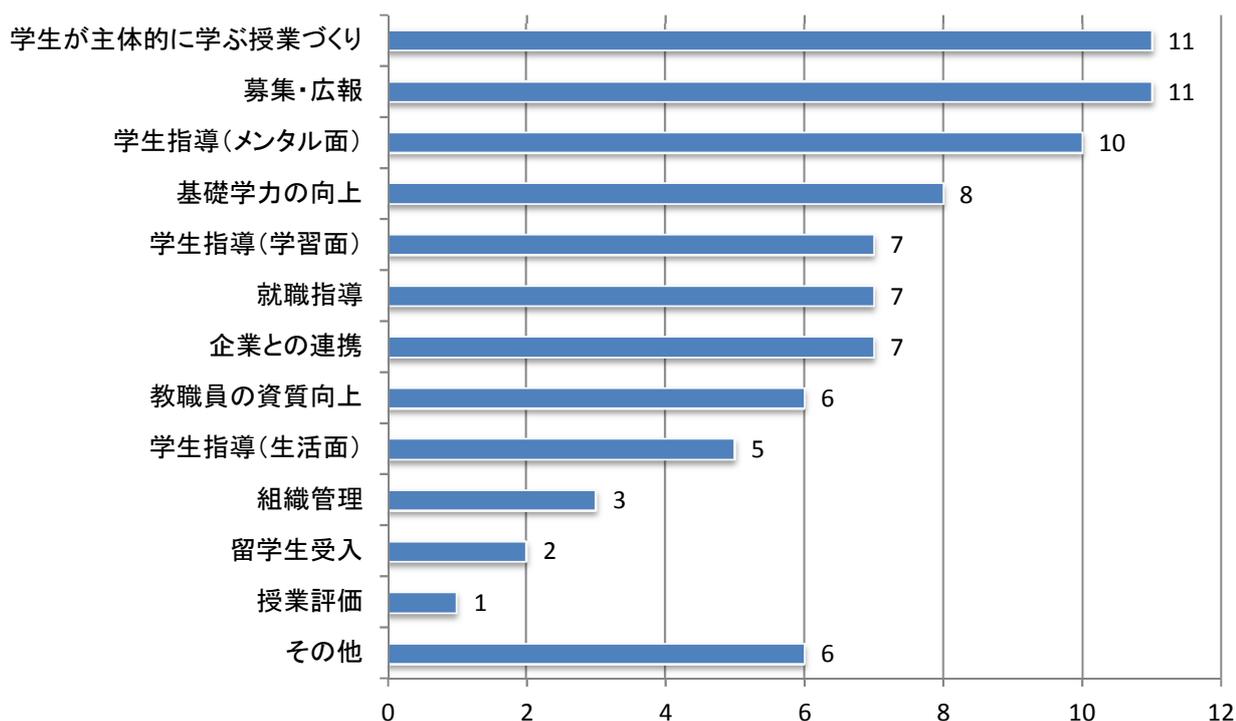
●協力校数 10 校

●回答率 13.3 %

問1. 担当されている業務の課題として緊急性の高いと感じているものに○を付けてください。

S.no	項目	回答	%
1	学生が主体的に学ぶ授業づくり	11	29.7%
2	募集・広報	11	29.7%
3	学生指導(メンタル面)	10	27.0%
4	基礎学力の向上	8	21.6%
5	学生指導(学習面)	7	18.9%
6	就職指導	7	18.9%
7	企業との連携	7	18.9%
8	教職員の資質向上	6	16.2%
9	学生指導(生活面)	5	13.5%
10	組織管理	3	8.1%
11	留学生受入	2	5.4%
12	授業評価	1	2.7%
13	その他	6	16.2%
	合計	84	-

※%の母数は回答者数(=37)、複数回答、回答の多い順に並べ替え



【その他の回答】

- ・学習環境の整備について学ぶ
- ・学生・教員が持続的に学び続けるための学校環境作り
- ・教職員の入れ替わりに伴う業務負担軽減
- ・決算書のしくみについて
- ・自己啓発
- ・電話対応

問2. 問題や課題を解決するために、どのような研修・セミナーがあったら良いと思いますか？

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
■教員の教育力向上：教授法、授業の作り方、技術習得、教材開発など						
1	プロジェクトベースドラーニング 学生のリーダーシップ養成講座	グループワーク授業の進行方法、評価方法等事例紹介	他校のグループワークの事例を知る。自分の学校で運用できる。	教員	1日	夏休み
2	3Dプリンタやレーザー加工機などの現代ものづくり環境にふれる	ものづくり空間Fabcore(岐阜県大垣市今宿6-52-16 ドリーム・コア1F)にて3Dプリンタやレーザー加工機を使ってのワークショップを体験	まずは体験することで、今後本校での器材の活用を考える	教員	3日	8月
3	デンマークの未来デザイン思考	・イノベーションが起こりやすい労働環境作り ・個人の可能性を最大化するクリエイティブ教育	各自の改革	教員	2~3日	不問
4	コンテンツビジネス	スマホ、SNS、動画サイトの発展により、VR、AR、MR、3Dプリンターなどの高度な技術の市場が高まっているため、最新の技術情報から今後のビジネスの可能性を知りたい	現状の技術の可能性を知る。また、Vr、MRの教育の可能性も知りたい	教員	1日	夏
5	アクティブラーニングについて	モデル校による事例発表	-	中堅教員	1日	-
6	コミュニケーションスキル研修	オリエンテーションから始まり、自己主張度、感情表現度に関わるソーシャルスタイル理論の講義、対応性を高めるステップ(自分を知る、相手を知る、自分をコントロールする)、信頼関係を作る～ニーズを確認する～についてのロールプレイング等も行っていく	相手が「心地よい」と感じる言動を察知し、適切に対応する「対人スキル」つまり「対応性」を学び意識し、実行に移すことで、交渉を成功に導く可能性を高める	対人コミュニケーション力が必要とされるすべてのビジネスパーソン	2日	毎月
7	まったく勉強ができない学生の存在する場合のクラス運営について(少人数)	成果を上げた教員の事例紹介及びそこから得たノウハウについて	実際に授業で活かせるレベル	教員	1日	夏休み
8	リーダーシップ研修	入社(勤続)年数ごとのレベルに分けて実施	-	-	-	-
9	クラス経営力向上研修	担任クラスを活性化させ、学生達の居地所を作り、退学者を出さない為のクラス経営手法	担任として実行すべきクラス経営手法を学ぶ	クラス担任	1~2日	8月
10	グループワーク法を身に付けるための研修	学習方法スキル獲得	高卒程度の基礎学力を獲得	教職員	1日~半日	夏
11	担任の仕事	担任として学生を導くための指導方法	-	-	-	-

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
12	高等専修学校卒業に必要なカリキュラム作り	卒業に必要な単位設定と登校可能なカリキュラム作りとのバランスを知りたい	カリキュラム作成が可能なレベル	高等専修学校科長	1日	7～9月
13	セルフイメージを高める	・アフターメーション ・出来事への反応 ・自己肯定感 ・アクティングアウト	自分のパフォーマンスを最大限に活かせるようになる	教員	2～3日	不問
14	専門学校の食育を考える	食育指導ができる先生の体験談及び事例の紹介	実際に授業で活かせるレベル	教員	1日	夏休み
15	アートと社会のつながりを探る～”美”と”機能”の追及～	野老朝雄、小林博人、竹中平蔵らといった、デザイナー、大学院教授、コーディネーターを招き、豊かな社会、豊かなライフスタイル、豊かな時間を過ごすための機能と「美」を融合させる事についてのトークショーの形式で講義を聴く。	「機能対美」から「機能and美」という見方を変え、既成概念にとらわれない発想、新しいことへのチャレンジ。建築作品で何を表現したのかなどの試行錯誤への視野を広げる	特定なし	1日	夏
16	クラスに発達障害の子がいる場合のクラス運営について(少人数)	少人数のクラスでもし障害を抱えたことのある教員でその事例紹介とノウハウについて。	実際に授業で活かせるレベル	教員	1日	夏休み

■学生指導：メンタルヘルスケア（カウンセリング）、発達障害に対するケアなど

17	発達障害者とのかわり方	講義式で分かりやすく	学校での対応、マニュアルetc	-	1日or1時間	-
18	学生指導(メンタル面)	発達障害などの問題を抱えた学生が多くなっているため、その対応や専門施設等への橋渡しするための情報が知りたい	進路を決定させることができる	教員	1日	8月～9月
19	自閉症についての研修	高等学生以上になった方の対応の仕方	理解することで対応の不安がなくなる	全員	1日	夏休み
20	学生相談メンタルヘルス研修会	講義形式。学生相談の目的と役割、メンタルヘルスの基礎知識、学生対応の基本等のプログラムの中で、学生生活を理解する視点、問題解決思考のコミュニケーション技法を会得に努めたり、ロールプレイング実習を行う。	現代の学生の心理的特徴、学生相談の目的役割について基本的な理解を得るとともに、研修の目的、動機付けを高める。カウンセリングスキルの実習をした上で、学生対応のスキルを習得する。	学生相談に関わる教職員	3日	夏期・冬期1回ずつ

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
■留学生に対する指導、就職、メンタルヘルスケアなど						
21	留学生の日本語教育について	日本語能力が高くない留学生に対して、どのような日本語教育・指導を行うと効果的に日本語能力(特に読み)を伸ばすことができるのか、日本語学校教員などの専門家から指導を受けたい。	-	教員	2日	夏
■キャリア教育、就職指導など						
22	社会人基礎力を身に付けさせる方法	社会人基礎力を測る指標、とそれを身に付けさせる方法等	-	-	1日	9月
23	現在の求人ニーズについて	現在、どのような産業界がどのような人材を欲しているか、また、これからの伸びそうなところはどこか	講座開設のヒントになる。	就職担当者	半日	秋
24	発達障害を持つ学生の就職支援について	・企業の理解についてまたは受け入れについて ・就職支援についての流れなど	支援方法の理解	教員	1~2日	夏
25	キャリアデザイン教育のやり方	各学校のキャリア教育の事例、考え方やノウハウ、プロセス等	情報交換ができる、成功事例、失敗事例を知る	教員	1~2日	夏休み
■学生募集・広報など						
26	-	効果的な募集をするためのツールに関する情報を知るための事例発表セミナー	-	-	-	-
27	[学生募集研修会] 高校生ニーズ予測と検証※分野別テーマ	今後の5年~20年などの時代の変化やニーズの変化予測と全国的な動き、先進的な募集活動校などの事例を知る情報共有会。分野別に探るテーマなど。	2020年募集活動計画の遂行。業種別・業界動向の把握。	広報課募集担当者	半日~全日	夏期
28	学生募集について	大学、専門学校の学生募集についての意見交換など	-	-	-	-
29	広報・募集の成功事例や新しい取組や打ち出し方など	広報活動や学生募集などで面白い取組事例や新しいアプローチ、成功事例など	-	-	-	-
30	留学生募集研修会	留学生の募集強化研修。留学生の受け入れ体制や組織作りについて、今後求められる外国人留学生への指導方法。	現在留学生受け入れが整っていない学校等への導入レベル。	広報課募集担当者	半日~全日	夏期
31	応募書類・面接など最新のトレンド	採用につながりやすいものはどんなものなのか。個人の長所を生かす書き方、話し方について	就職指導にいかせる	就職担当者	半日	秋

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
32	募集・広報	学生募集における効果的なSNSの使い方やフォロワーの増やし方など	在校生が嫌がらずフォローしてくれる	教員	1日	8月～9月
■学校運営全般：組織、会計、施設、安全管理など						
33	環境整備	学生、教員が、安心して学び続けていくために必要な、理想的な環境はどのようなものかを知りたい	生活面、学習面、金銭面での具体的な提案ができる	課長	1日	7～9月
34	学校組織のための労務管理	社労士(学校現場に詳しい方)	主な法・規定について理解できる	管理職	1～1.5日	春または秋
35	専門学校における図書・情報に関する研修	図書や情報の設備が整った先進校に訪問する	-	図書・情報関係を担当する教職員	1日	-
36	OJT研修	人事異動等での引継ぎや指導面にも活かせる内容	-	-	-	-
■業務推進能力向上、効率化など						
37	業務の簡素化を図るしくみ	業務の簡素化、作業効率、マニュアル作成などを学ぶもの	-	-	-	-
38	パワーポイント、エクセル、Word研修	パワーポイント…プレゼンテーションが上手にできる方法 エクセル・ワード…差し込み印刷、関数、簡単なマクロなど	学校業務がスムーズに行える	全員	1日	夏休み
39	Excleなどの効果的な使い方	基本的な操作方法から学ぶ	-	-	-	-
40	クレーム対応	クレームの事例や対応策などの勉強会	電話対応中、相手に動じずに適切な対応ができる	事務	1日	とくになし
41	保護者対応連携クレーム処理	保護者との関係性、適切な連携のとり方	他校の事例を知る	教員担任	1～2日	夏休み
42	トラブル対応	保護者・学生に対する応答方法、近年の事例共有	-	-	-	-

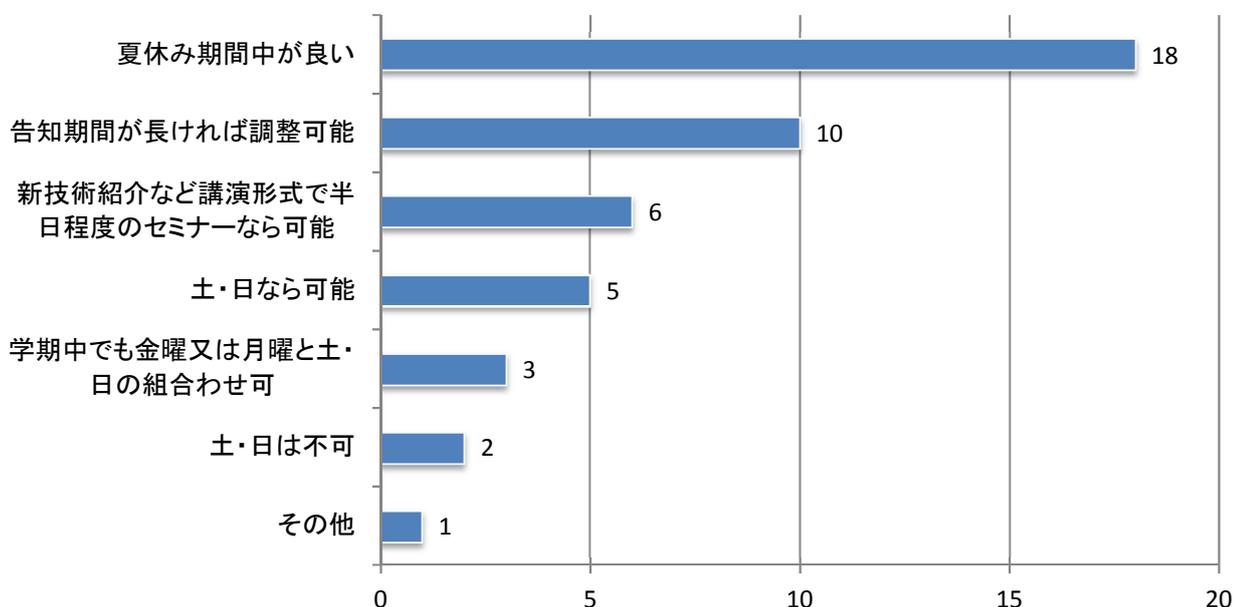
S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
■その他						
43	決算書の読み方	-	-	-	-	-
44	現状行っている フォーラム内容は良 いので、継続して実 施して頂けるとあり がたいです。	-	-	-	-	-

問3. パソコン等を用いた演習や、グループディスカッションを伴う研修は、2～3日を要するものが多くなります。実施時期・日数などについて当てはまるもの全てに○を付け、ご意見等をお書き添えください。

■研修次期について:

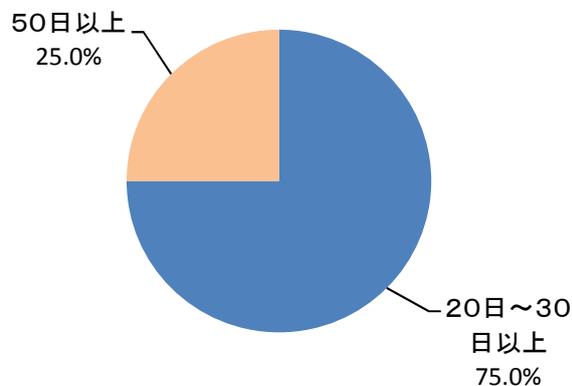
S.No	項目	回答	%
1	夏休み期間中が良い	18	62.1%
2	告知期間が長ければ調整可能	10	34.5%
3	新技術紹介など講演形式で半日程度のセミナーなら可能	6	20.7%
4	土・日なら可能	5	17.2%
5	学期中でも金曜又は月曜と土・日の組み合わせ可	3	10.3%
6	土・日は不可	2	6.9%
7	その他	1	3.4%
合計		45	-

※%の母数は回答者数(=29)、複数回答



◆”告知期間が長ければ調整可能”な場合、最低何日前の告知が必要？

S.No	項目	回答	%
1	20日～30日以上	6	75.0%
2	50日以上	2	25.0%
合計		8	100.0%

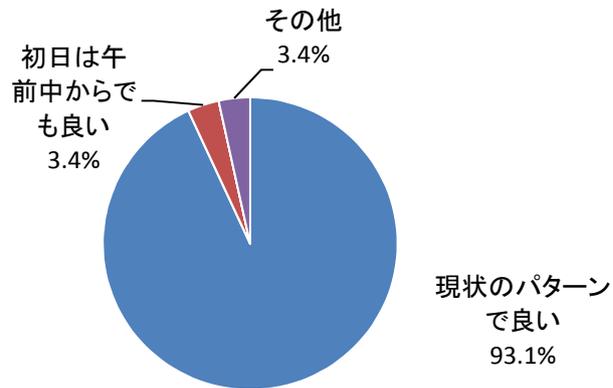


◆その他

・春休み2月12日～2月21日、3月

■日程について:

S.No	項目	回答	%
1	現状のパターンで良い (初日:午後スタート、最終日:15時頃終了)	27	93.1%
2	初日は午前中からでも良い	1	3.4%
3	最終日の終了時間は遅めでも良い	0	0.0%
4	その他	1	3.4%
合計		29	100.0%



◆その他

- ・告知が早ければ調整可能

問4. 視察してみたい場所(国内外)、内容の概略、適当と思われる期間(日数)を教えてください。

S.No	視察地	視察内容	何月頃	期間
1	アメリカ	最先端情報技術の視察	8月	3日
2	アメリカ カリフォルニア州 サンフランシスコ美術系大学	美術デザイン系学校のカリキュラム構造を知る	7月	5日
3	アメリカ シリコンバレー	Google、Appleなど 併せてアメリカの大学	9月	5日
4	岐阜県大垣市今宿6-52-16 ド リームコア1F	ものづくり空間Fabcoreにてワークショップなど機械を使ったものづくりと情報発信について	8月	3日
5	倉敷美術科学大学/学外連携センター	アートスタート研究:美術活動の拠点を町中に設置し、地元住民との共同活動を展開する。	1年次前期	-
6	京阪神方面	学生募集動向と現状の視察	8月	-
7	大学名は忘れてしまった	実習の設備を充実させ、いつでも学生が使用出来るようにし、各コンペなどで賞を取っていることから学生数が増えていると聞いている	-	-
8	東京都「桑沢デザイン研究所」	見学と基礎力の低い学生への対応について	8月	1日
9	東京都の総合デザイン専門学校		8月～9月	1日
10	発達障害者が多く通っている 高等専修学校	・授業見学 ・担任の先生との意見交換	-	-
11	フィンランド	教員の役割、業務内容(日本の教員はデスクワークに常に追われている。本来の教員のあるべき姿とは?)	-	-
12	ロンドンRCA	学生の制作現場、講師とのやりとり	7月	-
13	-	発達障害の学生を手厚くサポートしている(進路・学習面)学校があれば見学に伺いたいです。	11月	1日

問5. 職業実践専門課程導入にあたり、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。

- ・時間のない中で、企業連携を取り、インターンシップや作品制作を行っているが、学校にとってアピールポイントになっているのか少々不明。
- ・書類のやりとりが煩雑になってしまう。授業や他の業務と同時進行で企業とのやりとりをしなくてはならないので忙しい。
- ・導入器材の選定や活用について、もっと器材について知る時間がほしい。
また体験できる機会を作りたい。
- ・書類が多く大変。
- ・高校教員の認知度が低いと感じることがある。
- ・インターンシップ先の企業の確保。
- ・企業様と取り組む生徒と教員の時間の確保。
- ・学生の成果物で優秀な結果が得られたり、企業との連携で広告塔の一部になった学生の作品が、もっと本校の広報活動に効果的に利用(活用)できれば良いのにと、自分なりの考えをまとめていきたい。
(広報課の教職員の先生方、職員の方々に任せきりなので)
- ・IoTやAIで企業との連携を行いたいが、良い企業が見つからない。
- ・連携企業内での技術研修実施。
- ・設置した後、情報公開をしていない学校があり、その質が担保されていない。
- ・職業認定によるメリットが感じられないこと。

問6. 現在困っていることや、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。

- ・目的意識が薄い学生に対しての就職指導
- ・子生
募集の
- ・学生募集において募集年度によって入学生数の波があり、安定した入学生数の確保が難しい。
- ・学生募集のこれからのトレンド把握などの営業ノウハウの確立がまだできていない。
- ・ものを作り活かしての、学生や地域に向けての情報発信について行う動きを学びたい
- ・まだわからない点に分かっていない状態のなで、早く理解していけるようにつとめたい。
- ・学生の就職意欲の向上
- ・心の問題を抱えた学生に対し、日常、教職員が心がけるべき具体的な事項
- ・デジタルツール、IT系は主流がすぐ変わるため、情報収集の場が必要
- ・学内の設備・環境を良くしたい
- ・専門学校における図書室の活用状況等を知りたい
- ・学年で重点になっているところが違うので(1年次: 学生生活を確立していく、専攻決定と面談/
2年次: 職業研究、将来への計画/3年次: 就職活動、将来への計画)、年度が変わってもそれぞれの
担任になった際に柔軟に対応できるかどうかまだ不安があるので、ベテランの教員の先生方と情報交換
しながら対応力を高めていきたい。
- ・基礎学力が低い学生への対応及びメンタルに問題を抱えている学生への対応
- ・勉強や努力を嫌がる学生をその気にさせる方法
- ・学生募集の傾向と対策について
- ・企業主催のコンテストを専門学校生用に更に増やしてもらいたい